

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》澤 伊三男

【概 要】

社会福祉援助技術は、大きく分けてケースワーク（個別援助技術）、グループワーク（集団援助技術）、コミュニティワーク（地域援助技術）の3つが統合され、その他多くの関連技術から成り立っている。ソーシャルワークが体系化された時代から、生活課題を抱えた要支援者への効果的な対応が必要とされ、ケースワークが中心として発達してきた経緯がある。引きこもり、虐待、貧困、社会的孤立などの生活課題を抱えパワーレスの状態にある人への専門的援助技術を、人と環境との調整を主眼としたエコロジカルアプローチやジェネラリストアプローチを中心にソーシャルワーク（相談援助・環境調整）と地域包括ケアシステム並びに地域リハビリテーションの協働について学ぶ。

【学習目標】

地域において業務を展開するためには、ミクロ・メゾ・マクロの社会資源の活用を含めた個々の人々の人権の尊重と環境との相互作用を念頭に置いた包括的な支援方法を学ぶことが必要である、そのために必要な福祉全般の知識、対人援助の専門知識・態度形成、コミュニケーション技術を知り実践力を身につけることができる。

1. 福祉全般や社会福祉援助技術の基本的知識や実践方法を説明できる。
2. 実践事例などを通して学ぶことにより、個々の要支援者に対する的確な支援方法を説明できる。
3. 個人援助技術のみならず、地域において今後益々必要とされる多職種連携に参加できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	福祉とは何か	社会福祉援助技術の定義、福祉実践の2つの視点	澤 伊三男
2	専門分野と専門職	社会福祉の専門分野と相談援助専門職	澤 伊三男
3	相談援助の価値と倫理	社会福祉援助技術の構成要素と実践価値前提	澤 伊三男
4	生態学的視点とは	エコロジカルアプローチとジェネラリストアプローチ、ジェノグラムとエコマップ、ソーシャルワークの展開過程	澤 伊三男
5	対人援助に必要なコミュニケーション及び面接技術	面接に必要な視点と態度、対人援助に必要な倫理と面接技術、バイスティックの7原則とニーズの把握	澤 伊三男
6	事例を通してソーシャルワークを学ぶ (1) 差別と共生、現代社会の抱えている課題と貧困の連鎖	現代社会と生活困窮、社会的包摂と社会的排除、ノーマライゼーションと差別	澤 伊三男
7	事例を通してソーシャルワークを学ぶ (2) 子ども家庭福祉、虐待対応	現代社会と福祉課題、家族と子どもの貧困化、引きこもりといじめ、虐待対応	澤 伊三男
8	事例を通してソーシャルワークを学ぶ (3) 高齢者と障がい者への支援	急増している障がい者・高齢者の社会的孤立問題、高齢者の貧困化と抱えている生活課題、地域ケアシステムの内容と課題、医療と福祉並びにリハビリとの連携のあり方	澤 伊三男

【評価方法】

レポート100%

【備 考】

教科書 ： 授業開始時にレジュメを配布

参考書 ： 「相談援助の理論と方法」Ⅰ・Ⅱ 日本社会福祉士養成校協会編 中央法規出版
「ソーシャルワーク実践事例集Ⅰ・Ⅱ」 澤 伊三男・渋谷 哲 編 明石書店

【学習の準備】

- ・ 前回講義した内容（口頭、板書、スライド内容等）を復習し、その詳細を理解しておくこと（80分）
- ・ 指定したレジュメの授業範囲を予習し、専門用語に意味等を理解しておくこと（80分）
- ・ また、講義の妨げになる私語や携帯等の使用を強く禁じる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP2）近代医療は“チーム医療”がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。